



「感動と希望を与える診療」「医療は究極のサービス業」  
「成長、進化をやめない」医療の実践に、  
Qualis（クオリス）は素晴らしく頼りがいがあります。

整形外科

●もも整形外科（千葉県市川市）

クオリス  
**Qualis**  
Medical Station

「もも整形外科」は、北総線「北国分駅」南口より徒歩6分ほどの住宅地にあります。「薬や注射がなくても症状がない状態」を治療の最終目標とし、クリニックでしかできない医療を提供したいという百村励院長の強い思いで2022年6月に開院されました。

同院では「感動と希望を与える診療」「医療は究極のサービス業」「成長、進化をやめない」を基本理念としています。疾患が治る、痛みの原因がはっきりすることで患者様に感動と希望を与えられることを目指しています。医療サービスは、患者様の身体が良くなるという究極の喜びを提供すること、さらに、日進月歩の医療の進化には時代の変化やニーズに柔軟に対応しながら、テクノロジーの力も利用して、患者様一人ひとりの満足度を上げるための工夫を考えています。このような同院の診療を支えているのが、開院と同時に運用を始めたBMLの電子カルテシステムQualis（クオリス）です。

「導入に際しては10社ほど検討しましたが、こだわったのはペーパーレスです。開業時はコロナ禍でもあり、患者様の動線をファイルや紙を回して管理することは避けたいと考えていました。それを実現できると思ったのが10社の中でもQualis（クオリス）でした。受付一覧画面で患者様の状況が色分け表示されることで、各部門では決まった色だけ気にしておけばいいようになっています。院内には常にたくさんの患者様がいますが、誰も見ていないという患者様はひとりも存在しません。また、連動実績が多く、希望した医療機器やシステム全てと電子カルテが連携できたのもよかったです。エコーやレントゲンはクリックだけで該当の患者様の画像が見られるのも便利です」（院長）

「患者様一人ひとりの言ってほしいことを医療人の目線で深く理解し、新しい提案によって感動と希望を与える診療」を実践している百村院長を支えるために、BMLの電子カルテシステムQualis（クオリス）の役割は大切です。

『文藝春秋』2024年7月号